

職員による自己評価

A環境面

- ・スペースの使い方を工夫して、活動エリアと学習エリアを分けてからは大きく気が散る事もなく実施ができています。
- ・体調不良などで当日欠勤が出た時、調整できない場合は職員が少ないことがある（基準配置は問題なし）

B児童への支援内容

- ・コロナ以前の活動に戻すことができている、行事での外出も増やすことができている。
- ・お金の計算や子供会議の実施で、社会性を養う支援ができている。

C関係機関との連携

- ・ケース会議が開催される際には参加している。
- ・学校の先生とは送迎時などで常に情報共有している。
- ・気になることがあった場合は学校に連絡して確認や相談をしている

D保護者への説明責任・信頼関係

- ・連絡帳アプリで写真を毎日お渡ししていることで、様子を確認していただけている。
- ・月間通信にて個別評価を毎月実施し配布している。
- ・毎日 SNS で活動報告を行なっている。

E非常対応

- ・非常災害マニュアルを再度配布した。
- ・年2回実施して、連絡帳や通信で親御さんへも実施状況をお伝えしている。

保護者による評価

A環境面

- ・活動に十分な広さがある。
- ・手すりなどはないが時に必要に感じたことはない

B児童への支援内容

- ・計画も細かくよく見ている。
- ・面談の機会がもっとあると嬉しい。

C事業所からの情報発信

- ・連絡帳が写真付きで毎回様子がわかるので嬉しい。
- ・SNS で毎日活動を配信してくれているので、何をしているかがわかりやすくありがたい。

D非常対応

- ・非常災害マニュアルも配布されて、避難訓練も実施していただけている。

事業所内での分析

【共通点】

- ・豊富な活動内容
- ・連絡帳に写真がついていてわかりやすい
- ・SNS での配信で活動を確認いただけている
- ・非常災害マニュアルを配布し、避難訓練も写真付きで実施報告を行なっている
- ・父母会を実施できていない

【相違点】

- ・特になし

分析・検討してみて…

事業所の強み

- ・子供達が楽しみながら経験を増やせるようなレクリエーションや行事を実施している。
- ・個々に応じた課題からの支援を計画して支援している。
- ・連絡帳アプリで写真を活用して日々利用状況を報告している。
- ・毎日 SNS での活動報告
- ・毎月の利用状況、計画書の内容から評価して親御さんに報告している。

事業所の改善点

- ・父母会の実施

事業所の改善への取り組み

既存利用者様はあまり父母会の実施を求めているが、相談会や勉強会という形での実施を定期的にも実施していこうと思う。

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

やはり利用年数が経ってくるとアンケートへのコメントをいただける方がほとんどなくなってしまった。貴重なご意見なので、案内文の中でもできる限りコメントをいただきたい旨を記載していく。

事業所名 パレットハウス児童デイサービス保土ヶ谷
担当者 鈴木 理江